

利根川宣言

関東全域に甚大な被害をもたらしたカスリーン台風による災害から、ちょうど50年目にあたる本日、利根川流域の1都5県の首長が一堂に会して利根川をめぐる様々な課題や可能性、夢について語り合いました。

利根川は、古来、人々の生活に大きな関わりを持ってきました。それは、豊かな水や豊穡な作物、舟運等による様々な恵みをもたらしてくれる一方、カスリーン台風で代表されるように、常に災害と隣り合わせという試練を人々に与えてきたのです。

その後の先人達の努力により、水害が減少し、水をいつでも容易に使うことができるようになった結果、流域の社会経済はめざましい発展を遂げてきました。しかし、その社会経済の発展により、都市化が進み新たな水害や渇水の危険がもたらされるとともに、人々の価値観も多様化し、私たちは利根川に様々な新しい姿を求めるようにもなりました。

カスリーン台風による災害から半世紀がすぎ、私たちは水害の恐ろしさを忘れかけています。いまこの利根川でカスリーン台風規模の災害が起これば、その被害は50年前と比べはかりしれないものになると思われれます。私たちはこの災害の教訓を思い起こし、災害による被害を少しでも減らす努力を続けなければなりません。また、利根川では、近年の水の大量消費傾向や少雨傾向により、渇水が頻繁に起こっています。私たちは、この利根川の水の恵みを人々が共有できるよう、社会全体で節水に心がけるとともに、水を貯え、森を守っていかなければなりません。

私たちの周りでは、緑の減少が進むなど、私たちが水や緑と接する機会が少なくなっています。私たちは、利根川が私たちに残された貴重な水と緑の空間であることをあらためて思い起こし、失われつつある利根川の清らかな流れと豊かな自然をとりもどし、守っていかなければなりません。

また、近年、人と川とのふれあいは薄れつつあります。しかし、かつて流域の社会・文化は利根川という一つの川によって大きく発展してきました。今こそ、私たちは流域が一体となって、人々が集い、文化を継承していくことのできる空間である利根川との共生・共存に取り組んでいかなければなりません。

私たちは、カスリーン台風の襲来から50年目の節目を迎え、一つの川で結ばれた地域に住むすべての人々が、お互いを、そして利根川を思いやり、心を一つにして、豊かな利根川の恵みを未来の世代に受け継いでいくため、次のとおり宣言します。

- 一 カスリーン台風の教訓を忘れず、災害に強い社会を目指します。
- 二 利根川のもたらす水の恵みに感謝し、「水」を世代を超え、地域を結ぶ財産として守り、大切にします。
- 三 利根川の素晴らしい自然環境を守り、美しく清らかな利根川を次の世代に残していきます。
- 四 利根川とともに生きてきた先人たちによる歴史と文化を尊び、人々が憩い、集い、ふれあえるよりよい人と川との関係を築いていきます。
- 五 利根川で結ばれた地域のつながりを大切にし、利根川と共存した地域づくりを進めます。